

西京区の「目指すべきまちの姿」検討資料（「新たな西京区基本計画の策定に向けたアンケート」から作成）

西京区が「目指すべきまちの姿」について	目指すべき理由	キーワード
いつまでも住むことができる元気で活力あふれる“まち” ～環境保全から健康づくりのまちへ（ステップUP ↑ ↑）	人の幸せは、まず健康です。 現在取り組んでいる環境保全と併せ、スポーツを奨励し、健康増進のまちづくりをめざす。 一人で取り組むには勇気がいるので、みんなで協力し合えるスポーツやウォーキングが望ましく、これが住民自治の振興にもつながることを期待する。	住 元気・活気 自然環境 健康 住民自治
・安心安全に住み続けたいまち ・緑多い心休まるまち ・助け合いのまち	高齢化が進む中、若い人に住みたいと思う心を育てるため。 安心安全で互いに心通う温かいまちにするため。	安心・安全 住 緑 心 助け合い
ゆっくりと安心して生活できるまち	自然が残っている(緑を利用して健康的に生活できるまち)	安心 自然環境 緑
・高齢者がまちを歩いて安心してゆとりを持てるまち ・若い人が積極的に高齢者や子どもたちに声が気軽に掛けられるまち		安心 ゆとり 高齢者 多様な世代
・一人一人が身近な人たちと協力して、助け合っていけるまちづくり ・車に乗らずとも生活できるまち	今はその場所に住んでいるだけという人が増え、まちに誰がいるかも知らないという話もよく聞かすが、人本来の助け合うという気持ちがより良い自分たちのまちをつくらなければならないと思います。	助け合い 車に乗らない生活
多世代がまちづくりに参加するまち	必ずしも地縁・血縁に関わらない個人と地域の関係を構築する必要があるため	多様な世代 参加・参画
・赤ちゃんから高齢者までがつながっているまち ・子育てをしたくなるまち	核家族、独居老人の多くなってきた今こそ、声掛け、助け合いがないと安心して暮らせない。	多様な世代 子育て 助け合い

西京区が「目指すべきまちの姿」について	目指すべき理由	キーワード
・若者や子育て世代を含む多様な世代の参加・参画で息づくまち ・自治会等に加え、多様なNPOやグループの活動で、相互に支え合うコミュニティづくり ・地域の立地や特性を生かせるまちづくり(現計画の5地域等)	・区民一人ひとりの日常生活が、実はまちづくりに連動していることに気付かない。活動参加は当たり前と多くの人が考えられればよい。 ・家庭生活(子育て、介護、その他)と他の活動(地域、学校、職場、生きがいなど)との両立が求められていること。 ・個の尊重は、自他の尊重、相互支援で成り立つこと。	多様な世代 参加・参画 自治会・NPO コミュニティ 地域特性 家庭生活と社会生活の両立 自他の尊重・相互支援
「環境づくりのまち」を行政と区民が共同でつくる	西京区は、商業、工業施設の数 は市の平均を下回っており、また、農地、自然の山や川にも恵まれています。住まうためのまちとして、西京区を選んだ方々が多いと思います。環境づくりは住民の誰もが参加しなくてはできないことですが、西京区では可能であると思います。環境モデル都市・京都の目指すものを、10年間かけて、こつこつと実践してはどうでしょうか。	自然環境 行政と住民の共同 住 参加・参画
地下鉄か阪急の整備		鉄道
市内へのアクセスの充実と西京区内交通網の充実	市内行政区と比較すると劣っていると考えます。主要駅に着くと市内へは短時間で移動出来るが、西京区内で時間がかかる。すなわち全体的には西京区各所からの市内への時間がかかりすぎ	交通網
若い人たちが市街地に住み、高齢者がますます多くなり、寂しい西京区になるのではないのでしょうか	交通の便が良くなること 地下鉄ができれば、人も集まり、一人ひとり輝き夢が広がる地域になるのでは…	鉄道 輝き 夢の広がり
自然環境が豊かで、生活しやすい道路・交通網が整備され、安心安全で高齢者に優しく、安心して子育てができ、商店に活気があり、住民のつながりがあるまち	住民一人ひとりが健康で、お互いに助け合い、住民皆が心豊かに生きていくという人間としての基本である。	自然環境 交通網 安心・安全 高齢者 子育て 商店街 つながり

西京区が「目指すべきまちの姿」について	目指すべき理由	キーワード
市内にあっての利便と、自然環境も良く、農産業も守られ、福祉の充実した市内の模範となるような笑顔と活気あふれる西京区	高齢化にあっても、老いも若きもこの区に住むことが喜びとなり、支え合えるまちであり続ける事が出来るなら、誰もが豊かに暮らせると思う。	利便性 自然環境 農業 福祉 笑顔と活気 多様な世代 住 支え合い 豊かな暮らし
・自然豊かな所、西山や文化財の保全 ・公園や多目的広場、住民の憩いの場を多くし、地域コミュニティの向上	今の良い環境を残したいし、近所や町内の人と人との交流を深める	自然環境 西山 文化財 公園・多目的広場 憩いの場 コミュニティ
・阪急線、JR線との鉄道網のつながりの充実 ・1小学区、1自治連のまとまりを大切に地域のつながりを密にする ・建物の低層化、高層建築は都心部でよい。あくまで住宅居住地中心地域であること。	・地下鉄西伸が無理であれば、他の鉄道網を充実させ、住民の利便性を向上させるべきである。 ・西京は1小学校区に各1つの自治連が運営されているので学校を中心としたまとまりの充実を期待する。	鉄道 つながり 小学校区 住
各エリア毎で、地域に生活する人々が集い、常にまちづくりについてディスカッションができる場と、仕組みをつくる。	区民、事業者、行政の協働を実現する場と仕組みづくりが求められる。	協働 ディスカッションの場 や仕組み
豊富な学術・研究施設に多くの外国人や研究者が訪れることにより、区民との活発な交流が行われるアカデミックなまちづくりに取り組んでいくこと。	西京区には、京都大学、京都市立芸術大学、国際日本文化研究センターなど、学術・研究施設が豊富に存在するため。	学術研究施設 外国人 研究者 交流 アカデミック

西京区が「目指すべきまちの姿」について	目指すべき理由	キーワード
大原野地域と洛西ニュータウンの接点	大原野地地域の昔からの流（良いところ）とニュータウンの良いところをお互いによく話し合う。そして互いに活性化ができればよいと思う。	接点 活性化

西京区の「まちづくりの方向性」検討資料

（「新たな西京区基本計画の策定に向けたアンケート」、「西京区基本計画アンケート」調査結果、「西京・洛西住民円卓会議」結果から作成

人と人とが支え合う区民が主役のまちづくり（コミュニティ、子育て、教育、高齢者福祉、障害者福祉、安心・安全、防災、医療・健康、商業・工業）

西京区のまちについて、よいところ、伸ばしていくべきだと考えられる点（ <u> </u> は、「西京区基本計画アンケート」調査結果からの抜粋、 <u> </u> は、「第2回住民円卓会議」からの抜粋）	西京区のまちについて、気になるところ、問題点や課題と考えられる点（ <u> </u> は、「西京区基本計画アンケート」調査結果からの抜粋、 <u> </u> は、「第2回住民円卓会議」からの抜粋）	まちづくりの方向性に関する「第3回住民円卓会議」の意見
【コミュニティ】 （自治会） ・自治会活動ネットワークの強さがある。もっと伸ばしていく必要がある。 ・地域まちづくりのネットワークの仕組みが存在する。（自治会、にしきょうネット他） ・各学区自治連合会事業等への参加 ・自治会組織や各種団体の活動とその連携が充実すること。 ・本所管内で自治会組織や各種団体の力、それぞれの連携について評価されている ・「私の地域は、町内会や自治連合会等の地域活動が活発である」の評価について、ほとんどの地域で評価が高く、地域活動が活発であると感じられている。 （学区） ・学区の連携が良い。 ・地域と学校もつながっている。（見まもり隊等心強い） ・地域では各学区毎に様々な取組がされている。 ・人間関係が良いと思う。 ・PTA 活動が活発で、親同士の関係が深い。 （ボランティア） ・各団体の美化運動等、ボランティア活動が活発。 ・住民の手により、河川を美しくしたりする等、ボランティア活動が多く見受けられる。 ・福祉分野において、市民参加が比較的充実して、地域力の基盤になっていると思う。（女性の視点から）	【コミュニティ】 （自治会） ・自治会組織に加入していない世帯が増加傾向にあり、自治活動の基盤を揺るがしている。 ・自治会等について若年層の自治会離れが心配されていますが、新興住宅やマンション等が増え、昔から住んでおられる方との考え方にギャップが出てきていると思います。 ・地域のつながりの希薄化や自治会離れが進んでいると言われている。個の尊重は、自他の尊重であることや、家庭生活と他の活動との両立の大切さやワークライフバランスの取組も始まっている。一自治会の問題ではなく、大きく根深い課題でもある。両立活動について考えてみたい。 ・自治会加盟率が低くボランティアをする人も少ない。 ・自治会役員のなり手、そして自治会費未払の対策 ・本所管内で自治会への評価がある反面、自治会離れやそれに伴う地域のつながりの希薄化について心配する声が多くみられ、いずれのテーブルからも共通の意見が出されている。 ・本所管内で自治会組織そのものについては、役員のなり手の不足、高齢化といった点について指摘がある。 ・洛西支所管内で自治会離れやそれに伴う地域のつながりの希薄化について心配する声が多くみられる。中でも賃貸住宅に居住する住民に対する懸念が出されている。	【コミュニティ】 （自治会） ・自治会組織が生活の原点となるようなまち ・町内活動の盛んなまち ・地域の役員が尊重されるまち ・自治連合会議、自治会会議、組会議（組会議の減少。もっと隣同士のコミュニティ） ・地域（自治会）主催の色々な活動（催し）に参加する方が急激に減少している。全員参加のまち （ボランティア） ・ボランティアが多く出るまち

西京区のまちについて、よいところ、伸ばしていくべきだと考えられる点(<u> </u>は、「西京区基本計画アンケート」調査結果からの抜粋、<u> </u>は、「第2回住民円卓会議」からの抜粋) ・福祉施設へのボランティア、各学区の福祉事業へボランティア ・人材が豊かであること。(活躍を期待できる) (その他) ・元々いた人と、新しく西京に入ってきた人とが、うまく融合していくプロセスがよいです。 ・にしょく・ネットのように、区内の地域活動の交流が図られている。 ・西京区地域福祉活動計画がこの7月にまとめあげられています。住民の声も十分に入っているこの冊子を有効に利用してはどうでしょうか。 ・地区住民の間に良き時代の絆がまだ残っている。この特性を伸ばしていくべき。 ・より親密な心温まる地域を目指して、まとまりのあるまちづくりが大切と考える。 ・西山の緑をはじめ、自然や歴史、地域に伝わる伝統などを守るため、地域社会が一体となる地域文化の創造、地域による行事等、関心をもって参加し、住民交流の活性化 ・他の行政区は分かりませんが、西京区の各行政機関と各学区連合会組織の連携がスムーズに行われ、なお且つ、各学区間の連携及び情報交換も行われていると思います。 <u>・洛西支所管内で地域の各種団体の活動やつながり、教育・福祉施設のつながりについて評価されている。また、地域のイベントについても評価されている。</u>	西京区のまちについて、気になるところ、問題点や課題と考えられる点(<u> </u>は、「西京区基本計画アンケート」調査結果からの抜粋、<u> </u>は、「第2回住民円卓会議」からの抜粋) ・<u>洛西支所管内で、戸建かマンションかにかかわらず、多くの人が町内会に加入している</u>」に対して、<u>地域によってばらつきはあるものの、本所管内と比較して評価が高くなっている。</u> (その他) ・「新しい人が入ってくるのは嫌だが、役はやって欲しい！」と言われる地元の方と「役をやるなら自治会には入らない！」という新住民との間に溝ができ、本来あるべき助け合いのできる近隣の付き合いが希薄になってきているのが懸念されます。お互いが歩み寄り新しいコミュニティづくりが出来ていければいいと思います。 ・古い人と新しい人との調和と融合が課題です。 ・若年層の方々の地域に対しての関心が少なく自己中心的な人が多い。 <u>・洛西支所管内で新旧住民の融和などについても指摘されている。</u> ・まちづくり活動に関する情報が、区民の皆さんに届いていないと感じています。活動を企画してもほとんど応募がありません。 ・従来からあったものの、現在あまり機能していない、「街角の案内板」の見直しを提案します。案内板の設置場所、見やすい形、数、維持管理、担当者を決めて新しいニュースを伝える等、区民が皆同じ情報を共有できるようにすることが必要だと思います。特に大原野のように、超高齢化社会では、インターネットでの発信情報はほとんど伝わっていません。 ・ベッドタウン的要素による住民の意識の低さ。 ・高齢化が進む事により、地域力が低下する恐れがある。	まちづくりの方向性に関する「第3回住民円卓会議」の意見 (その他) ・新旧住民が混然一体として住まい出ているまち ・新来の居住者が地域にとけこめるしくみ、ルールのあるまち ・洛西地域の農村部とニュータウン部のコラボレーション ・行事への参加が気軽に出来るまち ・近所の人と気軽に話の出来るまち ・あいさつの出来る人づくり、あいさつが交わせるまち ・声掛け合い、どなたとも話せる明るいまち ・井戸端会議のまち。 ・地域の人たちの輪(和)が出来るまちづくり ・結束のあるまちづくり ・我が子、他人も同じ目線でしかれるようなコミュニティのあるまち ・「ほっとけない人(困っている人、高齢者など)」との関わりを大切にすまち ・人に優しいまちづくり ・人と人との交流の中で何事によらず感謝の思いを持つ社会 ・若い人々との交流があるまち
---	--	--

西京区のまちについて、よいところ、伸ばしていくべきだと考えられる点(____は、「西京区基本計画アンケート」調査結果からの抜粋、____は、「第2回住民円卓会議」からの抜粋)

【子育て】

- ・本所管内での見守り活動について評価が高い
- ・子どもの見守りについて、「学校と家庭・地域が一体となって子どもたちを見守っている」の回答がほとんどの地域で評価が高くなっており、子どもの見守りを軸に学校、家庭、地域が連携している様子がうかがえる。

【教育】

- ・子どもたちの想像力、コミュニケーション力の育成に有利な環境が身近にあること。(自然体験、労働や奉仕、交流体験など)
- ・小学校から大学まで教育施設が充実している点が評価されている。

【高齢者福祉】

- ・洛西支所管内で介護施設や病院といった施設が充実している点が評価されている。
- ・洛西支所管内で、「高齢者の見守り活動や高齢者の地域活動への参加、支援が充実している」に対して、一部地域を除いて評価が高い地域が多くなっている。

西京区のまちについて、気になるところ、問題点や課題と考えられる点(____は、「西京区基本計画アンケート」調査結果からの抜粋、____は、「第2回住民円卓会議」からの抜粋)

- ・洛西方面(支所)と京都方面(本所)での地域間の交流が少し出来ていないように思う。
- ・本所管内で地域コミュニティの問題とからめて、防災面に対する懸念がある。

【子育て】

- ・保育園が少なく、働きたいお母さんが困っている。
- ・核家族(二世帯)であり、団地の集会所等で「子育て広場」の出前をして、若いお父さん、お母さんに子育ては親育ちを体験してもらう等。
- ・洛西支所管内で子育て支援に関連して、児童館や公園といった施設の不足について指摘がある。

【高齢者福祉】

- ・進行している高齢化に向けて、日常生活の移動手段を考えてみる。
- ・独居高齢者の見守りや安否確認の難しさ。
- ・少子高齢化への対応。
- ・少子化、高齢化が既に進行している地域が多い
- ・素晴らしい自然や景観のあるまち西京区ですが、高齢化社会に対応するため高齢者の方たちが、いつまでも楽しく憩える場所作り。
- ・独居高齢者対策
- ・本所管内で敬老会について、参加者の減少や開催資金面での指摘がある。

まちづくりの方向性に関する
「第3回住民円卓会議」の意見

- ・住民のつながり温かいまち(年齢を問わずつながりあえる町)
- ・お互いに助け合えるまち
- ・自助、共助が出来るまち

【子育て】

- ・子どもが安心して遊べるまちづくり
- ・若い人が地域にとけこめるまち
- ・子どもを健やかに育むまち

【教育】

- ・豊かな感性を育む人づくり

【高齢者福祉】

- ・高齢者を見守れるまちづくり
- ・独居老人の安心できるまち
- ・高齢者や障害者を支えるまち
- ・高齢者、障害者を含め元気なまち(社会福祉の視点、高齢化を支え合う)

西京区のまちについて、よいところ、伸ばしていくべきだと考えられる点(____は、「西京区基本計画アンケート」調査結果からの抜粋、____は、「第2回住民円卓会議」からの抜粋)	西京区のまちについて、気になるところ、問題点や課題と考えられる点(____は、「西京区基本計画アンケート」調査結果からの抜粋、____は、「第2回住民円卓会議」からの抜粋)	まちづくりの方向性に関する「第3回住民円卓会議」の意見
【安心・安全】 ・凶悪犯罪が非常に少ない，安心，安全なまちである。 ・区全体で安全に対する取組が活発であると考えます。	・洛西支所管内で地域の高齢化が進み，独居老人の見守りや安否の確認，建物のバリアフリー化といった点について指摘がある。 ・洛西支所管内で地域の少子高齢化の進展といった指摘がある。 【安心・安全】 ・今の西京西部の交通は他府県の方には便利になってきているかも知れませんが，この地域に住む者には必ずしもそうとは言えないのではないのでしょうか？広い道ができ，車が増える事で旧道へ抜け，スピードを出して通る車が増え，通学路等では子どもの安全が脅かされています。 ・通過車両(観光も含む)の対策による交通安全への配慮。 ・交通手段が自動車，バイク，自転車に依存しているのにマナーが悪い。 ・阪急桂駅周辺の治安が悪い ・西京区全体が他区と比較すると夜間は暗く感じられる。商店が少ないのでもう少し明るい行政区としてはよいのでは ・本所管内で自転車盗難など，犯罪の発生についての懸念がある。 ・本所管内で観光に伴う交通渋滞や通り抜け車両に対する不満がある。 ・洛西支所管内でバイクや自転車のマナーについての指摘がある。	【障害者福祉】 ・障害のある人もない人も心が通うまち 【安心・安全】 ・高齢者がひったくりなどの犯罪被害に遭わないまち ・社会規律の乱れが気になり，規律正しい社会環境づくり

西京区のまちについて、よいところ、伸ばしていくべきだと考えられる点(____は、「西京区基本計画アンケート」調査結果からの抜粋、____は、「第2回住民円卓会議」からの抜粋)

【防災】

- ・地域住民が防災、見守り活動を主体的に行っている。
- ・本所管内で警察署、消防署の存在、防災に関する地域のネットワークが評価されている。
- ・消防や防災活動、安心・安全に関するフォーラムへの取組について評価されている。

【商業・工業】

- ・洛西支所管内で身近で買物できる点が評価されている。
- ・洛西支所管内で特産物がある点が評価されている。
- ・本所管内で「私の地域の買い物環境などに満足している」について、一部地域を除いて比較的評価が高くなっている。

西京区のまちについて、気になるところ、問題点や課題と考えられる点(____は、「西京区基本計画アンケート」調査結果からの抜粋、____は、「第2回住民円卓会議」からの抜粋)

【防災】

- ・旧来の街並みは、道路幅員が狭く、災害時に支障をきたす。
- ・洛西支所管内で防災上懸念がある箇所や防災マップ作成についての指摘がある。また、地域の防災会の機能アップについても指摘がある。

【商業・工業】

- ・商店など商業施設の減少、衰退による不便さ。
- ・地元商店の振興
- ・国道沿道の店が、地域とのかかわりがなく存在するなど、広域行政と地域行政まちづくりとの関係が持たれていないこと。
- ・産業力がない。サービス業が多く、生産業がない。
- ・本所管内で商業面で、商店の減少による不便さについて指摘がある。
- ・洛西支所管内で商業施設の衰退や数が少ないとの指摘がある。
- ・洛西支所管内で、「私の地域の買い物環境などに満足している」「私の地域は、商店街や駅周辺がにぎわっている」に対して、本所管内と比較して評価が低くなっている。

まちづくりの方向性に関する
「第3回住民円卓会議」の意見

【防災】

- ・誰もが安心して暮らせるまち（防災やつながりを含む）

【商業・工業】

- ・暮らしに便利なまち
- ・樫原旧街道を美しくし、観光客を増やしたい。
- ・商店の復活
- ・商店の活気があるまち
- ・朝市のまち。田んぼや畑が多いので毎週特定の場所で
- ・特産物を生かしたい
- ・特産物、農産物の直売所

【その他】

- ・福祉の充実。
- ・福祉のまちといえるようなまちづくり（福祉が充実したことが売りのベッタウン、地域ブランド）
- ・生活弱者が安心して生活できる

特徴と課題

【コミュニティ】

- ・区内各地では高齢者の日常生活支援や子育て支援などの地域福祉活動や、子どもの見守り、歴史的な資源を軸にした地域でのお祭りなど、自治会をはじめとした地域の様々な団体によるコミュニティ活動が展開されており、区民から高く評価されています。
- ・地域での活発な活動が展開される一方で、活動を担う人の中からは、地域の高齢化や若い世代の活動への参加が減少するなど、地域のコミュニティ力の低下を心配する声も挙がっています。特に、地域コミュニティの中枢を担う自治会については、組織の高齢化や担い手不足といった懸念が示されています。
- ・一方、地域ボランティアやNPOによるテーマ型のまちづくり活動も活発に取り組まれており、「西京まち・ひと・情報データバンク（愛称：にしきょう・ねっと）」を通じて、その活動などの周知も図られています。
- ・西京区基本計画の推進組織となっている「西山文化」創造区民会議の重点プロジェクトである「西京塾」については、「環境自然班」と「地域コミュニケーション班（公園探検隊）」の2つのグループが、区内をフィールドに大変熱心な活動を展開しています。

【子育て】

- ・子育て支援については、就学前の子どもとその保護者を対象にした子育てサロンなどが取り組まれています。

【高齢者福祉】

- ・高齢化は徐々に進行しており、平成17年時点で、65歳以上の人口の割合が20%を超えている学区・地域もみられます。
- ・高齢者福祉に関しては、地域での食事会やサロンでの健康づくり活動などを中心に、季節のイベント、文化活動など高齢者が参加する各種交流活動などが展開されています。そのほか、安否の確認につながる友愛訪問、日常生活の支援としての布団のクリーニングや乾燥、配食サービスなども活発に取り組まれています。

【安心・安全】

- ・ひったくり等の犯罪に対する懸念が見られる一方、子どもの登下校時の見守りや防犯・防災パトロール活動についても積極的な取組が展開されています。

【防災】

- ・木造住宅が多い地域では、地震や火災に対して心配されている区民も多くなっています。
- ・地域コミュニティとの関連で、地域の人と人のつながりが弱まっている状況の中、防犯・防災の対応についても、区民の関心が高くなっています。

【商業・工業】

- ・商業については、卸売、小売事業所数、従業者数ともに京都市全体の5%前後であり、また、人口1人当たりの年間商品販売額についても京都市の平均を下回っています。
- ・工業については、事業所数、従業者数ともに京都市全体の2%前後であり、また、人口1人当たりの工業製品出荷額についても京都市の平均を下回っています。



【方向性】

- 地域での人と人とのつながりを大切にし、お互いに支え合うことができるまちづくりを進めます。
- 自治会をはじめとする地域コミュニティの力を生かしたまちづくりを進めるとともに、高齢化社会を支えることができる地域コミュニティの形成を図ります。
- 自治会や各種団体、地域ボランティアやNPOなど、地縁型活動組織やテーマ型活動組織の連携を図り、新たな地域活動を展開します。
- 学校を拠点とした地域のコミュニティ活動などを展開し、学校を生かしたまちづくりを進めます。
- 子育てに対する不安を解消し、安心して子どもを産み、育てることができるまちづくりを進めます。
- 地域による子どもや高齢者の「見守り」など、地域ぐるみで安心して子育てができるまちづくり、高齢者や障害者が健やかに暮らせるまちづくりを進めます。
- 地域で発生する犯罪、交通事故の防止に向けた取組を進めます。
- 行政による防災関連団体の連携はもとより、区民のコミュニティを生かした防災体制の強化を図るなど、災害に強い、安心して暮らせるまちづくりを進めます。
- 保健・医療・福祉の各分野で活躍するさまざまな主体が連携し、区民が生涯にわたっていきいきと健やかに暮らせるまちづくりを進めます。
- 地元商店の振興など、住民ニーズに対応できる商業環境の形成を促進します。

環境と共生するまちづくり(自然環境, まち美化, 景観, 農業)

西京区のまちについて、よいところ、伸ばしていくべきだと考えられる点(____は、「西京区基本計画アンケート」調査結果からの抜粋, ____は、「第2回住民円卓会議」からの抜粋)

【自然環境】

- ・自然豊かな環境
- ・農地や西山の保全
- ・桂川や西山の良さをもっと残すべきと思う。里山を大事に。
- ・水、里山など自然環境の豊かさ。
- ・自然が豊かなので、環境整備と保全を心掛けなければならない。
- ・北区、東山区同様に緑の多い行政区であると同時に、空気のおいしい西京区である。
- ・緑豊かな西山連峰や、水清き桂川など大、中河川にも恵まれている。
- ・どの地域からでも近くに河川があり、子どもたちは水遊びができる。
- ・私の住む大枝学区は小畑川の上流で、初夏には蛍が飛び、小魚を追う鳥の姿も多く見られ、また竹林や柿畑等西京の昔の風景が残っている地域です。昔から住む方のためにも、これから大きくなる子どもたちのためにも、長閑なこの風景を残していきたいと思います。
- ・桂川、小畑川、西山、身近な緑など自然環境が豊かであり、自然環境の保全を更に推進していくべきである。
- ・自然資源が豊富に存在するとともに、自然資源に関わる地域活動が活発である。
- ・子どもをはじめとして、様々な世代が自然に親しみやすい環境にある。
- ・ニュータウンの街路樹、公園の緑が豊かである。
- ・緑が多く歩きやすく、住んでいてほっとする。

西京区のまちについて、気になるところ、課題と考えられる点(____は、「西京区基本計画アンケート」調査結果からの抜粋, ____第2回住民円卓会議からの抜粋)

【自然環境】

- ・西山は近いが、町の中に緑が少ない。
- ・河川敷でのバーベキューについても悩まされている状況にある。

**まちづくりの方向性に関する
「第3回住民円卓会議」の意見**

【自然環境】

- ・緑豊かな清楚なまち
- ・山紫水明。西山と小畑川がいつまでもきれいなまち
- ・住んでいてほっとする環境（緑が多く歩きやすい）

西京区のまちについて、よいところ、伸ばしていくべきだと考えられる点(____は、「西京区基本計画アンケート」調査結果からの抜粋、____は、「第2回住民円卓会議」からの抜粋) ・西山、尾畑川、身近な景観、自然環境の豊かさを大事に ・桂川や西山を中心とした自然環境が評価されている。 ・西山や小畑川といった自然環境、身近な緑などが評価されている。 ・「街路樹や公園の緑、水辺空間など自然環境が豊かである」について、特に洛西支所管内で評価が高くなっている。 【まち美化】 ・住民の美化運動や、環境保護意識が高い。 ・地域に密着した地産地消のまちづくりが必要である。 ・学区における廃油回収をもっと徹底して欲しい。 ・DO YOU KYOTO(環境にいいこととしてますか?)を区民にPRして欲しい。 ・洛西支所管内で地域による清掃活動などによって、公園や学校がきれいに保たれている点が評価されている。 【景観】 ・西山の山懐に抱かれた風景は心を安らかにさせてくれる良いところと思う。 ・嵐山から大原野にかけて西山の美しい山並み、松尾大社の鳥居のある風景を大切にまちづくりを進めて欲しい。 【農業】 ・本所管内で身近な空間で田畑が残っていることについて評価されている。	西京区のまちについて、気になるところ、課題と考えられる点(____は、「西京区基本計画アンケート」調査結果からの抜粋、____は、「第2回住民円卓会議」からの抜粋) 【まち美化】 ・地球温暖化に最も影響を与えているのが二酸化炭素の排出です。そのためにも廃油回収の徹底と、各家庭から出る(ゴミ減量だけでない)電気製品等々のCO2の削減のための取組を進め、家庭生活でのエコ活動の輪を広げたい。住みよいまちにするためには、そこに住む住民の意識革政も重要である。 ・環境という視点から消費生活も考える必要がある。 ・西山でのゴミの不法投棄防止策の確立。 ・清掃活動について評価される一方で、タバコのポイ捨てやペットの糞などについての指摘がある。 ・清掃活動自体についても、参加率の低下などについて指摘がある。 【景観】 ・桂川をはじめ、大、中河川では、堤防保護の観点から植樹を避けているようであるが殺風景である。 ・9号線沿いの街並みの景観が気になります。敷地内に、植樹を義務付けてはどうでしょうか。 【農業】 ・農業政策、地産地消、農業を市民が分かるように。 ・洛西支所管内で農業問題について指摘がある。	まちづくりの方向性に関する「第3回住民円卓会議」の意見 【まち美化】 ・エコのまち。まず、市広報版から太陽発電の設置 ・水のきれいなまち ・環境を大切にする気持ちを育むまち ・緑の多いまちづくり ・ゴミのないまち ・自然と共有した環境づくり ・美しいまち(町内で付近を定期的な清掃活動) ・数少なくなっていく田や畑(農業従事)が大切にされているまち ・公共の場所にゴミ、不要物のないまち。すぐに誰かが処分する風土のあるまち
--	---	---

西京区のまちについて、よいところ、伸ばしていくべきだと考えられる点(____は、「西京区基本計画アンケート」調査結果からの抜粋、____は、「第2回住民円卓会議」からの抜粋) ・京都市内でも貴重な昔ながらの山辺の風景が残っている。 ・「個性的なまちなみ景観が守られ、美しいまちである」について洛西支所管内での評価が高い	西京区のまちについて、気になるところ、課題と考えられる点(____は、「西京区基本計画アンケート」調査結果からの抜粋、____は、「第2回住民円卓会議」からの抜粋)	まちづくりの方向性に関する「第3回住民円卓会議」の意見
---	---	------------------------------------

特徴と課題

【自然環境】

- ・西部を中心に、嵐山、小塩山、ポンポン山などの西山連峰を有しており、豊かな緑に恵まれた自然を求めて、ハイキングなどに訪れる人も多くなっています。
- ・東側には、京都の代表的な河川である桂川が流れ、河川沿いの自転車道路（京都八幡木津自転車道）や嵐山周辺の水辺環境など、人々の散策や憩いの場として、広く親しまれています。また、小畑川や善峰川が洛西支所管内を流れ、これらの河川が西山から流下する支流を集めています。
- ・洛西竹林公園、大原野森林公園、桂坂野鳥遊園などの施設があり、自然とのふれあいを楽しむことができます。
- ・公園や街路樹などまちなかの緑に対しても、区民からの評価は高くなっており、区民が身近に自然を感じることができる環境にあると言えます。

【まち美化】

- ・地球環境について関心を持ち、行動することが大切な時代となりましたが、西京区内では他に先駆けてごみの減量やリサイクルの取組、まちの美化活動などが各地で活発に行われています。

【景観】

- ・大原野には大規模な美しい田園風景が広がっており、市街地周辺にも農地が点在しています。
- ・これらの豊かな自然環境は、うるおいある景観を創出する重要な要素となっています。
- ・かつて京都と丹波をつないだ旧山陰街道沿いでは、歴史的な町並みが往時の雰囲気醸し出しており、桤原地区は京都市市街地景観整備条例に基づく「西京桤原界わい景観整備地区」に指定されています。

【農業】

- ・西京区の農家人口は京都市全体の約18%を占めており、また、農家人口率、1農家当たり世帯員、1戸当たり経営耕地面積において、西京区は京都市の平均を上回っており、商品作物の栽培など、近郊農業は盛んであると言えます。
- ・特に大原野における広大な田畑は、西京区の農業生産の中心的な位置を占めており、水稻、タケノコや露地野菜などの栽培が行われています。また、大枝の柿なども広く知られています。



【方向性】

- 西山や桂川、小畑川といった豊かな自然環境、公園や街路樹などの身近な緑をいつまでも大切にし、かけがえのない西京区の資源として、次世代に継承します。
- 豊かな自然環境とのふれあいを通じて、自然環境に対する意識の向上につなげます。
- 西山を背景とする美しい景観や、大原野の広大な田園風景、旧山陰街道沿いの歴史的な景観など、西京らしい景観を保全するとともに、身近な緑を生かしたうるおいある景観の創出を進めます。
- 西京区民の高い環境への意識を基にしたごみ減量化やリサイクルの取組、まち美化活動などについて、一層の発展を図り、環境にやさしいまちづくりを進めます。
- 農業の振興を図るとともに、田畑の持つ自然的側面や景観的側面など多面的な機能の活用を図ります。

人と歴史・文化が輝くまちづくり(歴史・文化, 生涯学習, 大学, スポーツ, 観光, 交流)

西京区のまちについて、よいところ、伸ばしていくべきだと考えられる点(____は、「西京区基本計画アンケート」調査結果からの抜粋, ____は、「第2回住民円卓会議」からの抜粋)

【歴史・文化】

- ・名勝, 史跡が多く, 隠れた文化財や名所も多い。
- ・名所旧跡が多い。
- ・史跡も数多くあり, 何でもない道端に「弘法の井戸」がある。大枝地区もその一つと考える。
- ・西山周辺には, 古代の遺跡も多くみられ, 古代のロマンも感じられます。
- ・西山文化, 歴史をPR
- ・地域にゆかりのある祭り, 行事, イベントを継続していくべきである。
- ・地域の祭りがあるが, より盛んにするべきである。
- ・精神的安定にもなるので文化的な活動をもっと活発にするべきと思う。
- ・多くの寺社仏閣が西京区全域にあるが, 現地への案内, 道しるべの再確認及び周辺道路整備

・地域にゆかりのある祭りやイベントなどについて, 評価する声が多くなっている。

・歴史的な史跡や町並みに対する評価もみられる。

・歴史的な祭りや行事について評価されている。

・文化について「寺院・神社や文化財が多く, 京都の歴史文化に親しむことができる」に対して, 洛西支所管内と比較して評価が高くなっており, 中でも嵐山東, 松尾などで評価が高くなっている。

【大学】

- ・京都大学, 京都市立芸術大学, 国際日本文化研究センター, 桂イノベーションパークなどの学術研究施設が集積し, 外国人や学生など訪れる人が増えていくまちである。

西京区のまちについて、気になるところ, 問題点や課題と考えられる点(____は、「西京区基本計画アンケート」調査結果からの抜粋, ____は、「第2回住民円卓会議」からの抜粋)

【歴史・文化】

- ・文化的施設が少なく, あっても地域と密着していない。
- ・地域ゆかりの祭りが評価されている反面, 祭りの担い手不足についての指摘がある。
- ・施設面で, 文化などのイベントに活用できる大規模な施設の不足について指摘がある。
- ・歴史的な祭りなどについて, その継承や資金面について指摘がある。
- ・本所管内で池, 史跡の活用などについても指摘がある。

【大学】

- ・大学との関係がなく, あっても別の世界になっている。
- ・大学について「大学の市民向け講座や地域との交流など, 大学が身近に感じられる」について, 一部地域を除いて評価が低くなっている。

**まちづくりの方向性に関する
「第3回住民円卓会議」の意見**

【歴史・文化】

- ・文化活動の盛んなまち
- ・上桂御霊神社祭礼に若い方の参加をしていただきたい
- ・名所, 旧跡にある建物や場所に歴史的調査が整理されているまち
- ・せっかく持ち合わせた伝統行事(文化)を末永く大事にするまち(子どもも含めて守ろう学校)

西京区のまちについて、よいところ、伸ばしていくべきだと考えられる点(____は、「西京区基本計画アンケート」調査結果からの抜粋, ____は、「第2回住民円卓会議」からの抜粋)	西京区のまちについて、気になるところ、問題点や課題と考えられる点(____は、「西京区基本計画アンケート」調査結果からの抜粋, ____は、「第2回住民円卓会議」からの抜粋)	まちづくりの方向性に関する「第3回住民円卓会議」の意見
・国立、公立、市立各教育機関が地域活動への参加がある。しかしながら桂坂の京都大学は今のところ地域への参加が見受けられないと思う。 ・大学での演奏会に親しめる点が評価されている。 【スポーツ】 ・身近に散策路やジョギングコースが多くある。 ・散歩、ジョギングや自転車を楽しめる所がある 【観光】 ・一般的に知られていない観光地がある。観光地をつくり上げることも。		【スポーツ】 ・元気なまち。各世代に合ったスポーツの振興

特徴と課題

【歴史・文化】

- ・桂川を挟んで、右京区にもまたがる嵐山一帯は、歴史的資源や豊かな自然環境に恵まれ、四季を問わず多くの観光客で賑わいをみせています。
- ・嵐山の南の法輪寺、松尾大社、西芳寺（苔寺）、華厳寺（鈴虫寺）などや、西山山麓の大原野神社、勝持寺（花の寺）、善峯寺など魅力ある史跡や古刹、名刹が数多く存在しています。また、桂川沿いには、江戸初期に造営された桂離宮もあります。

【大学】

- ・国際日本文化研究センターをはじめ、京都市立芸術大学、京都経済短期大学、京都大学桂キャンパスや桂イノベーションパークなど、学術研究施設が立地しています。

【観光】

- ・桂川や西山をはじめとする豊かな自然を楽しむ人もたくさん見受けられますが、観光客が集中することによる交通渋滞や観光マナーなどの面を懸念する声もあります。



【方向性】

- 西山山麓を中心に、点在する由緒ある社寺などの歴史的資源を保全するとともに、地域の魅力資源として活用を図ります。
- 西京区の自然や歴史など地域の魅力を生かした教育活動を行います。
- 区内の学術研究施設との連携を強め、区民と学術研究施設の交流を通じたまちづくりを進めます。
- 区民の健康増進にもつながるスポーツ活動の振興を図ります。
- 区民の暮らし環境とバランスのとれた観光の振興を図ります。

暮らしやすい都市基盤が整うまちづくり(公共交通, 道路, 河川)

西京区のまちについて、よいところ、伸ばしていくべきだと考えられる点(____は、「西京区基本計画アンケート」調査結果からの抜粋, ____「第2回住民円卓会議」からの抜粋)

【公共交通】

・「私の地域は、バスや鉄道などの公共交通環境が整い、まちなかの移動は便利である」について、桂駅周辺を中心に、公共交通環境への評価が比較的高い。

西京区のまちについて、気になるところ、問題点や課題と考えられる点(____は、「西京区基本計画アンケート」調査結果からの抜粋, ____は、「第2回住民円卓会議」からの抜粋)

【公共交通】

- ・豊富な学術研究施設を有効的に活用していくため、また、人口の減少傾向に歯止めをかけるため、地下鉄の整備が課題である。
- ・地下鉄の延伸に関する展望（基本計画に謳われているので）
- ・洛西地域までの鉄道による公共交通手段が無いので、市内への移動に時間を要する。
- ・バスの便の充実や地下鉄整備。
- ・西京最西部まで市バスが通っておらず、電車に乗り継ぐにも大変で、特に年高齢者等、中心部の病院等に通われたりする方にも負担が大きいのではないだろうか。
- ・交通機関の不備。阪急電車が環状線のように回ってくれたら良いと思う。
- ・交通事情が悪く、渋滞も多い
- ・交通網が整備されていないと考えます
- ・地域内での交通アクセス悪く、地域でのコミュニケーションが図りにくい。
- ・JR 鉄道網が不便である。阪急電鉄は便利であるので大阪方面は良いが、京都駅とのつながりが薄い。阪急嵐山線が JR 嵯峨野線と結ばれる様になれば良いと思う。地下鉄が無理なら既存の鉄道網をより便利に利用できる様にするべきであると思う。
- ・区役所の所在する千代原口へバス網の充実を望む。
- ・交通機関の充実（特に大原野地域）
- ・洛西支所管内でバスの便や地下鉄など、公共交通についての指摘がある。

**まちづくりの方向性に関する
「第3回住民円卓会議」の意見**

【公共交通】

- ・大原野全体の交通（バス）の路線の見直し
- ・地下鉄を桂坂まで通していただきたい
- ・地下鉄利用できる交通アクセスの良いまち（交通アクセスの拠点となるものが必要）

西京区のまちについて、よいところ、伸ばしていくべきだと 考えられる点(____は、「西京区基本計画アンケート」調査結果から の抜粋, _____「第2回住民円卓会議」からの抜粋)	西京区のまちについて、気になるところ、問題点や課題と 考えられる点(____は、「西京区基本計画アンケート」調査結果から の抜粋, _____「第2回住民円卓会議」からの抜粋)	まちづくりの方向性に関する 「第3回住民円卓会議」の意見
【道路】 ・田園風景の西京である中で道路網を整備する。 ・洛西支所管内で「道路を歩いたり、自転車に乗るには快適な地域である」について、本所管内と比較して、<u>地域によって差があるものの、洛西ニュータウンや桂坂を中心に評価が高くなっている。</u> 【その他】 ・住み慣れた洛西ニュータウンは道路の整備も行き届き、大変暮らしやすい環境です。 ・社会資源(施設、教育機関、公園等)も多く、活用できる環境。 ・閑静な住宅街が多くある。	【道路】 ・桂川には橋梁が少なく、市内との交通路が遮断されているように思う。 ・桂川を越える道路(橋)新設。中心部とのアクセス強化。 ・桂川橋梁の整備及び桂川街道の北進について、右京区と連携しながら進めていく必要がある。 ・国道9号線をはじめ、道路交通網の整備 ・幹線道路周辺の交通停滞が多い。特に9号線周辺地域及び駅周辺地域が目立つ。 ・通過車両については、第2外環の建設に伴う完成後の計画等も準備していく時期に来ているのではないかと思う。 ・道路整備は嵐山東学区を中心に整備すべきである。 ・自転車が安全に走れる道が少ない。 ・本所管内で個別の道路に対する幅員に対する指摘がある。 ・洛西支所管内で交通量の多い道路や道路幅員が狭い、といった指摘がある。 ・洛西支所管内で観光や日常生活に関連する駐車場問題について指摘がある。 【その他】 ・洛西地域の集合住宅に居住する人々のニーズ把握。 ・洛西ニュータウンの将来像 ・子どもたちが、住まいの近くでキャッチボールできる遊び場が無い。 ・近くに子どもの遊び場が少ない。 ・公共の運動施設や多目的広場が少ない。 ・国道9号線沿いの乱開発防止	【道路】 ・第二外環、大原野全体の道路整備 ・観光、道路、駐車場 ・歩行者、自転車にやさしいエコなまち ・自転車道のあるまちに ・歩行者や自転車が安全に歩行できる広々とした歩道のあるまち 【河川】 ・大原野の河川整備 【その他】 ・大原野農地関係。農振農用地の見直し ・住宅の建てられる地区づくり

西京区のまちについて、よいところ、伸ばしていくべきだと考えられる点(____は、「西京区基本計画アンケート」調査結果からの抜粋, ____「第2回住民円卓会議」からの抜粋)	西京区のまちについて、気になるところ、問題点や課題と考えられる点(____は、「西京区基本計画アンケート」調査結果からの抜粋, ____は、「第2回住民円卓会議」からの抜粋)	まちづくりの方向性に関する「第3回住民円卓会議」の意見
・本所管内でスーパーや保育所、病院、児童館等生活基盤の充実と、それに伴う人口の増加について評価されている。	・駅周辺の不法駐輪、不法駐車が目立ちます。 ・本所管内で鉄道駅周辺での駐輪問題への指摘がある。	

特徴と課題

【公共交通】

- ・京都市と大阪方面を結ぶ阪急電鉄京都本線が区の東部を南北に通っており、桂駅が玄関口として機能しています。また、平成 15 年には、洛西口駅が開設されました。更に、桂駅を分岐点として北西に嵐山線が桂川に沿うように通り、上桂、松尾、嵐山の 3 駅が設置されています。そのほか、西京区と隣接する南区に、平成 20 年、JR 桂川駅が開設され、西京区内各地と桂川駅を結ぶバスも運行されています。
- ・地下鉄東西線の太秦天神川駅から洛西間への延伸については、近畿地方交通審議会答申第 8 号（平成 16 年 10 月 8 日）において、「京阪神圏において中長期的に望まれる鉄道ネットワークを構成する新たな路線」の一つと位置付けられています。

【道路】

- ・かつての山陰街道である国道 9 号が区の中央を東西に通り、基幹的道路として機能しています。
- ・桂川には、松尾橋、上野橋、西大橋、桂大橋が架かっており、これらは京都市内の中心部につながるルートにもなっています。
- ・京都第二外環状道路の整備事業が進められています。
- ・国道 9 号と嵯峨街道の交差部での京都西立体交差事業(千代原口地区)が進められているほか、桂川街道を延伸する久世梅津北野線（桂川橋梁）整備も検討されています。
- ・道路は、西に亀岡市をはじめとする丹後地方につながり、かつての山陰道である国道 9 号が中心部を東西に通り、基幹的道路として機能しています。

【その他】

- ・鉄道駅周辺などでの迷惑駐輪や迷惑駐車についても区民から指摘の声が挙がっています。



【方向性】

- 地下鉄東西線の延伸をはじめとする、鉄道やバスなどの公共交通機関の充実を図ります。
- 地域の幹線となる道路整備や立体交差化、橋梁整備などを進め、交通の円滑化を図ります。
- 安全に歩行者や自転車が通行できる道路整備を進めます。
- 公共交通網、地域の骨格的道路や生活道路のネットワーク化を進め、総合的な交通体系の構築を図ります。